

Tuesday, 23 May 2023

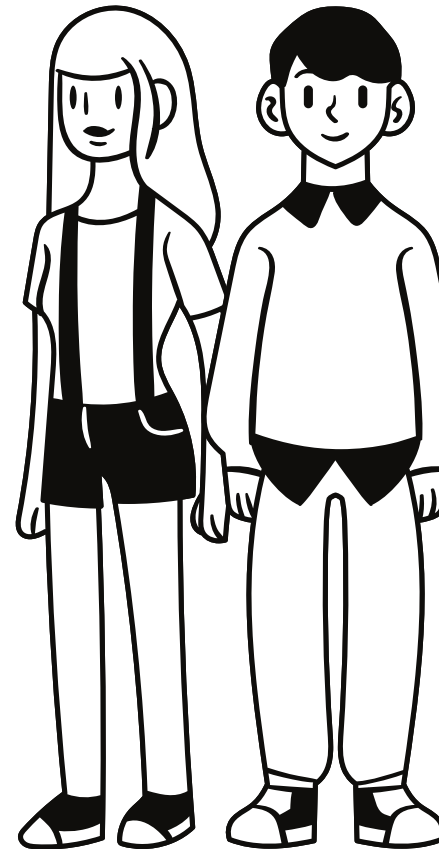
# こくご学園xUCSD 紙芝居ワークショップ 2023年5月



## 小四～中学部チーム

### グループの仕事分担:

リーダー: 林  
ババ抜き: 徐  
紙芝居: コウ、武、徐  
絵担当: ヴェラ  
記事: ケイ



# 活動目標

こくご学園の小学4年生～中学生たちが楽しみながら持続可能な開発目標、または「SDGs」を学べる活動の企画と実践を目標としました。

## タイムライン：

- (5分) 自己紹介
- (5分) 紙芝居
- (5分) 内容チェック
- (15～20分) SDGsババ抜き

## 学べること：

- ・ 全SDGsの意味と大切さ
- ・ SDGs2、3、14の対策方法
- ・ 日常生活でどのようにSDGsが活躍しているのか

## こくご学園 SDG'Sの紙芝居

2023年5月20日

### スケジュール

10:00 - 10:10	ひよこ組さん
10:15 - 10:30	うさぎ組&きりん組さん
10:35 - 11:00	小学1年生&2年生
11:05 - 11:35	小学3年生&4年生
11:40 - 12:15	小学5・6年生&中学年

UCSD JPN 135 JAPANESE FOR PROFESSIONAL PURPOSESの  
学生がお届けします

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## SDGsの説明



# 活動内容：紙芝居



私たちは、SDGSの神様が支配するファンタジー世界を舞台として、物語を作りました。その物語には、魔法少女が神の御加護によって、世界をSDGsの問題から救う話でした。そして最後には、私たちもどうやって日常の細かいことを通じて同じことができるかを説明しています。



# ゲーム：ババ抜き

## ルール説明

同じ数字のカードを2枚組みにして捨てていって、早く手札のなくなった人が勝ちです。最後にババ(ジョーカー)が、手札に残った人が負けです。しかし、普通のトランプではなく、特別なSDGsのカードを使います。34枚のカードとジョーカーを使います。

皆がカードをもらったあと、自分のカードを見てください。同じ数字のカードがあれば、2枚1組にして表をむけたまま、中央に捨てます。

ここで特別なルールを紹介します。カードを捨てる時に、書かれているSDGsの名前を大声で言ってください。例えば、1のペアを捨てる時に、「SDGs1：貧困をなくそう！」と言います。

そのまま時計回りにカードを左どなりの人にひいてもらって、同じカードがあれば中央に捨てていきます。早く手札がなくなった人から1位、2位、3位になります。



## 5、6年生のSDGSババ抜きゲーム

## 4年生へのSDGS紙芝居発表



## ヴェラ

活動中の時、最初は少し緊張しました。子どもたちを素早く集中させることはできませんでした。時間管理も難しいことでした。ゲームが終わっていないうちに、もう時間だったこともありましたが、しかし、本格的にゲームをするときは、人数が少ないので、みんなで管理するのが簡単になりました。私たちの成果がみんなに認められているのも楽しいです。最後に、SDGsのPRや教育はとても重要なことだと思います。SDGsを聞いたことがない子どもが多いからです。また、今後の課題についても、今回の活動のように十分な準備が必要だと思います。

## コウ

ボランティア活動は疲れましたが、楽しかったです。久しぶりに子供達との交流はなんだか懐かしい感覚がありました。今回のボランティアでは、騒がしい子もいましたが、静かで、おとなしい子もいました。今回のボランティア活動で、同じ歳の学生同士の間には大きな違いがあることも学びました。次は、その要素も考えながら、もっと良い準備をしたいと思います。

## ケイ

今回の活動は成功だと思います。私は活動当日でグループみんなが頑張っている写真をいっぱい撮りました。でも子供たちと会話するのは大変でした。次回は、ルール、SDGsに関する説明と紙芝居の物語をもっと子ども向けのスタイルに変えたいです。そしてストーリーをもっと子供に楽しく思えるようにプレゼンするともっと楽しめると思います。でも全体的に言うと楽しかったです。またやりたいです!

## ダチヨウ

今回は初めて日本語でボランティア活動をするので、子供達と交流する時に彼らより緊張すると感じました。事前準備する時に、どのように言葉を選んだほうが良いのかわかりませんでした。しかし、本当に子供達と遊ぶ時には、彼らの優しさと賢さに感動しました。そして、活動を行った後に、一つの私の欠点に気づきました。それは、SDGsの目標をもっと簡単な言葉に吹き替えることが必要だったことです。五年生達の話す日本語はぺらぺらですが、少し複雑な漢字はやはり理解しにくいです。もし今度は同じような活動があれば、それから改善します。

## ジヨ

こくご学園に行く前には準備万端だと思いました。しかし、実際に活動を開催したときに他のグループメンバーと同じく緊張しました。小学生や中学生対象のボランティア活動は初めてなので、どのように生徒たちを扱えばいいかわかりませんでした。それは兎も角、日本語でボランティア活動することは貴重な経験と思い出になりました。最終的に、135A, B, CでSDGsや企業とボランティアに関する知識と知恵を実践できた良いコースの結末になりました。この授業をとることができて幸せです。

大成功とは言えないですけど、全体的にうまくいったと思います。最初はちょっと緊張して、本領発揮できませんが、5・6年生の時はみんながしっかりになったし、うまくできたと思います。多分一番大変なのは、四年生の学生はあまり話を聞かないことでした。それがすごく大変でしたし、メンタルが弱くなった気がします。全員家に帰ったらそのまま寝てみたいですね。皆さん、本当にお疲れ様でした。

## リン

# 個人感想

